



近藤じゅん子通信 vol.23

木造住宅耐震化改修助成の適用範囲の拡大を提案！

外部講師を活用したがん教育が前進！
骨粗しょう症検診の導入を提案！

第4回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和4年11月24日(趣意)



防災

避難所の防災備蓄倉庫について

質問 私の地域の避難所である常磐松小学校の防災備蓄倉庫は、老朽化などが原因で、戸の開閉が困難な状況です。

いざと言う時に、戸が開かず、資機材を使えないということが無い様に、改善策を講じてくださることを提案します。

答弁 (区長) 議員ご指摘の避難所にある防災備蓄倉庫の扉の開閉の不具合については、早急に現状を確認して必要な改善を行ってまいります。

要支援者対策の進捗について

質問 私は、昨年の9月定例会で、避難行動要支援者が安全に

安心・安全

木造住宅の耐震化について

質問 現在、区は、木造住宅耐震化助成の対象を昭和56年5月31日以前に建築した住宅としています。しかし、区内全域に於いて、昭和56年6月から平成12年8月までに建てられた木造建物が非常に多いと考えます。

そこで、耐震診断及び耐震改修の費用の一部助成の対象を、昭和56年6月～平成12年5月に建てられた木造住宅まで拡大することを提案します。

答弁 (区長) 木造住宅の耐震診断及び耐震改修助成を実施するにあたっては、国や都からの補助金を受け、実施することも必要と考えます。そのため、従来からの旧耐震の建築物に重点を置きつつ、国や都の補助金の予算化状況を注視し検討してまいります。

ブロック塀等安全化対策について

質問 区民の方から、「大地震が発生したら、自宅のブロック塀の倒壊で人的被害に繋がってしまうことが心配」「経済的負担や土地所有者との合意形成等々から一歩踏み出せずにいる」旨のご相談を受けました。

そこで「ブロック塀等耐震化支援事業」を改めて創設することを提案します。

答弁 (区長) 危険と分かっているも様々な理由で耐震化が出来ない所有者の方もいらっしゃると思いますので、所有者の負担を減らせるような継続的支援の検討をしてまいります。

区民サービス

ポケットWi-Fi環境の拡充について

質問 区は、ポケットWi-Fiの貸し出しを地域交流センターに試験的に配備しています。第2回定例会の代表質問で、

地域交流センター以外の区民施設に於いても、この事業を拡充すべきであると提案をしました。

答弁 (区長) 今後、デジタル機器を活用した活動は、ますます需要が高まることから、区民会館やリフレッシュ氷川などニーズのある区民施設等へのポケットWi-Fi機器の拡充については、必要性を鑑み積極的に進めてまいります。

旧渋谷図書館跡地について

質問 先日、氷川地区町会連合会の定例会に於いて、長谷部区長より、「旧渋谷図書館については、常

磐松小学校の建て替えのタイミングで一体的に考えることも出来る」とのご発言がありました。

未だ先の話になりますが、その時には、地域コミュニティ形成の拠点となる複合施設の建設を一体的な計画となるように進めて頂くことを提案します。

答弁（区長）議員のご提案の地域コミュニティ形成の拠点については、未来の学校にその役割を担ってほしいと考えています。

未来の常磐松小学校が、より地域に開かれたものとなり、さまざまな施設を学校と地域で共用し、児童・生徒と地域住民の交流が増え、新たなコミュニティが創出されるよう、教育委員会と一体となって、計画を推進してまいります。

環境

「標語コンテスト」について

質問 区議会公明党の提案で、

毎年、10月の世界食糧月間に開催されている「もったいないマーケット」では、環境・リサイクルをテーマに区内の小学生が応募する「リサイクル標語」があります。

今年も、3年ぶりに表彰式も執り行われ、受賞した5名の子供たちの、標語と一言スピーチは、豊かな感性と個性あふれる素晴らしいものでした。

是非、より多くの子供たちが参加できるように取り組んで頂きたいと考えます。

例え、子どもたちのタブレット端末に参加フォームを貼り付けるなど、広報を拡充することを提案します。

答弁（区長）児童のタブレット端末に参加フォームを貼り付けること等のご提案は、タブレット端末の活用を、応募の段階にまで広げるものであり、応募作品を増やすことに繋がる工夫の一つと考えます。

早速、具体的な取組を検討していきます。また、地域団体を通じて広報することにつきまして、あわせて検討します。

福祉

認知症サイトの構築について

質問 愛知県蒲郡市のホームページには、「認知症が心配な方や認知症の方とその家族の方へ」と、認知症の情報を丁寧に掲載しています。その中には、「認知症チェックサイト」本人向け家族向けがあります。

チェック終了後には、お住いの地域の地域包括支援センターや認知症協力医等のご案内画面が出てきます。

区が、認知症に関しての正しい情報を常に発信していることは重要な施策です。当区ホームページ上に「認知症サイトの構築」を提案します。

答弁（区長）ホームページをより効果的に活用するために、認知症が心配な方やその家族、それぞれに合わせた丁寧で分かりやすい説明や表記の工夫、内容の充実化、より必要な情報にアクセスしやすいページ構成など、情報を整理しながら必要な見直しを検討してまいります。

質問 高齢者の健康維持を後押しするために、日頃のトレーニングの積み重ねが成果として見える様にデジタルを活用するなど工夫が必要だと考えます。

そこで、介護予防・フレイル予防事業の参加者に成果の見える化の仕組みをデジタルサポートも含めての実施を提案します。

答弁（区長）議員のご提案の介護予防・フレイル予防事業参加者への成果の見える化の仕組みづくりについては、デジタル技術の活用も含め、今後、効果的な方法を検討してまいります。

教育

がん教育について

質問 第3期がん対策推進基本計画では、地域の実情に応じて、

外部講師の活用体制を整備し、がん教育の充実に努めることが示され、中学校の学習指導要領にも示されています。

是非、渋谷区教育委員会としても全校で、医師やがん経験者などの外部講師を活用した授業が実施できる仕組みを構築して頂くことを提案します。

答弁（教育長）今年度は、12月に保健主任を対象とした研修会に於いて、がん教育に関する研修を予定しております。

今後は学校医や医師会などとも連携を図って、次年度以降、外部講師を活用した授業を継続的に進めることが出来るしくみを構築するよう努めてまいります。

健康

骨粗しょう症検診について

質問 フレイル予防の観点としても、背中や腰が曲がってきたら

骨密度が落ちてきているサインと言われている骨折しやすくなることとされています。区の健康診査に骨粗しょう症検診を導入することを提案します。

答弁（区長）議員のご指摘のとおり、骨粗しょう症の予防はフレイル防止の観点などからも、重要であると考えています。

より多くの方を対象にした骨粗しょう症検診については導入に向けて関係機関と調整を図ってまいります。



ひとり一人を大切に、皆様の声を区政に活かします。

—— 区政に対するご要望、お困りごと、お気軽にご相談ください ——

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

●区民環境委員会

●多様性社会推進特別委員会委員長

渋谷区議会公明党控室
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962
携帯 090-2221-7507
近藤じゅん子のブログ
<http://ameblo.jp/kondo-junkon>



ホームページ



アメブロ



Twitter



Facebook